

1 本年度の研究テーマについて

豊かに学び、共に高めあう生徒の育成

～「考えさせる授業」の創造～

「生きる力」とは、変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちに身につけさせたい「確かな学力」「豊かな人間性」「健康と体力」の3つの要素からなる力であり、中でも「確かな学力」(＝知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの)を、校内研究の機会を通して、生徒一人一人に身につけさせていくことを目指したい。そのためには、教科の指導力を全職員で高めていくことはもちろん、土台となるべき学級集団の育成にも力を入れていきたい。さらに、本校生徒の課題の一つでもある家庭学習にも目を向ける(基礎・基本の定着を目指して)。生徒一人一人の心の安定、それぞれの学級でのよりよい所属感を高めていくことで土台を固め、そのうえで「考えさせる授業」の充実と家庭学習の定着(ゆくゆくは充実を目指したい)とがスパイラル状に相互に補完しあっていけるような研究を目指したい。

2 研究内容・研究方法について

教科研究、集団づくり、家庭学習について、基本的には昨年度までの研究内容を継続する。

① 教科研究

- ・「考えさせる授業」を意識した授業に取り組み、一人一実践を行う。
- ・大きなテーマに沿ったグループを作り、教科の枠を超えた意見交換を行う。2学期に各グループで研究授業を行う。

② 集団づくり

- ・生徒一人一人を理解するための標準検査(Hyper Q-U)の実施・活用。
- ・構成的グループ・エンカウンターを特活・道徳・短学活・各教科の授業の中に採り入れ、生徒対生徒、生徒対教師のより良い人間関係を作っていく。

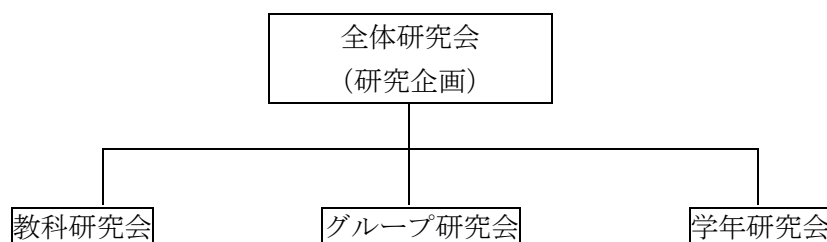
③ 家庭学習

- ・生徒の実態を確認、指導に生かすため、家庭学習力アンケートの実施。
- ・家庭学習の手引きを配布するとともに、実践できるような支援。

3 研究目標

生徒一人一人を多方面から理解し、相互の人間関係の啓発・醸成を図ることで土台を固め、そのうえで各教科や特活・道徳の授業において、考えさせる授業の創造を目指す。そして、日々の教科の授業と家庭学習とを有機的にリンクさせることで、豊かに学び、共に高めあう生徒を全職員の力を結集して育成していく。

4 研究組織



☆グループについては、「小集団の活用」「教材・教具(ICTを含む)の工夫」「発問の工夫」「言語活動」で希望を取り、構成する。

5 研究計画

第1回 4月11日(月)

〔全体研〕研究テーマ・内容・方法・年間計画等について(家庭学習の具体的な取り組みについてを含む)
〔教科研〕各教科研究の進め方の検討。

第2回 5月30日(月)

〔全体研〕研究グループについて、「考えさせる授業」の学習会(講師招聘)
家庭学習力アンケート実施

第3回 6月27日(月)

〔全体研〕Q・U、構成的グループ・エンカウンターの学習会
Q・U実施

第4回 8月1日(月)

〔グループ研〕「考えさせる授業」実現のための具体的な取り組みについて
〔学年研〕Q・U分析

第5回 8月18日(木)

〔全体研〕教育課程研究協議会還流報告
〔教科研〕教育課程研究協議会還流報告、「考えさせる授業」実現のための具体的な取り組みについて
〔グループ研〕指導案検討

第6回 9月21日(水)

〔全体研〕研究授業および研究会(指導主事招聘)

第7回 10月19日(水)

〔全体研〕研究授業および研究会(指導主事招聘)
Q・U実施
家庭学習力アンケート実施

第8回 11月21日(月)

〔学年研〕Q・U分析、家庭学習について

第9回 12月5日(月) 職員会議の中で

研究紀要について

第10回 1月11日(水)

〔全体研〕研究紀要について
〔グループ研〕研究のまとめ

第11回 2月6日(月)

〔全体研〕本年度のまとめと来年度の方向性について

第12回 3月15日(水) 職員会議の中で

来年度の方向性について確認

*その他、グループ、学年研究会を適宜設定予定。道徳については研修還流報告を中心に、適宜学習会を行う。